

福祉サービス第三者評価結果(総括表)

第 三 者 評 価 機 関 名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会			
評価実施期間	平成21年9月3日 ～ 平成22年3月31日			
担 当 評 価 者 登 録 番 号	05－1－8	05－1－10	05－1－12	
事 業 者 情 報	名称	森山聖徳保育園		
	施設種別	保育所		
	代表者氏名	秋 山 弘 一	定員(利用人数)	120(151)
	所在地	茨城県日立市森山町3丁目17番地1号		
	TEL	0294－52－0774		
総 評	(評価の高い点) (1)施設運営について 同一法人で運営する5つの保育園が共同で共通の中・長期計画や研修計画を作成し、実践に努めている。 職員一人ひとりに、保育園の理念や中・長期計画などの周知徹底が図られている。 安全マニュアルを全職員に配布するとともに、定期的に安全管理に関する検討会を開催している。 事故報告書による研修や職員参加による事故防止策の検討を行うとともに、安全確保について定期的に点検・評価や見直しを行うなど、子どもの安全管理に努めている。 (2)サービス提供について マニュアルはほぼ完備されており、全職員に配布している。 朝の早い登園において3歳以上児は、クラスごとではなく一緒に保育し、通常の登園時刻にそれぞれのクラスに預けており、少ない保育士数で対応ができる工夫をしている。 朝の礼拝の儀式は、子どもでも集中心があればできるので、保育園の特色の一つとなっている。 自主的個別保育の時間は、クラスごとの引き戸を開放し一人ひとりの子どもが好きな玩具や遊具で、自由に好きな遊びができるようになっている。 さまざまな教材(文字、絵、図形等)が用意され、学習向上に興味のある子どもや保護者にとっては魅力ある保育となっている。 クラス保育や領域別保育等では絵画、音楽、太鼓、体育、英語、習字、ピアノと豊富な取り組みをしている。			
	(改善を要する点) (1)施設運営について 同一法人で運営する5つの保育園が共同して基本的なことを決定しているため、立地条件や地域性の異なる5園の個性や特性が出にくい状況になっている。 実習生やボランティアの受け入れに対する姿勢や体制(受け入れ準備、保護者等への説明、ボランティアへの事前説明の仕組みの確立、研修の実施)など、受け入れ体制の整備が望まれる。 (2)サービス提供について 保育や看護、食育の総合的な連携を図るため、保育士や看護師、栄養士の多職種の専門性を活かして健康管理や保健計画を見直し、保育の質の向上に取り組むことを期待する。 自主的個別保育やクラス保育、領域別保育全てが保育士からの指導により行われており、自由な遊びを子どもが選択できるよう工夫することを期待する。 園庭がやや狭いこと、大きな音や声が出せないのでもさまざまな工夫をしているが、子どもが伸び伸び育つためには、散歩などで戸外の別な場所に移動する機会を増やした取り組みを検討することが望まれる。 保護者への情報提供として、献立表にエネルギーやたんぱく質程度の栄養価の表示をすることが望まれる。 ランチルームを造り食事をするのは難しくクラス配膳になっているが、時には自主的個別保育の時間のように、異年齢の園児と一緒に食事ができるよう検討することを期待する。 食事に時間のかかる子どもへの配慮に取り組むことを期待する。			

福祉サービス第三者評価結果(総括表)

事業者のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ① 受審に備えて足かけ3年の歳月の中で、自己評価を繰り返した。その過程で、改善点を見出して実践してきた。 ② Ⅲ適切な福祉サービスの実施やⅣ付加基準などを強化してきたが、Ⅱ組織の運営管理は後手にまわり、C評価が25%を超えることになった。予想されたことである。 ③ 全体としてC評価が10%ぐらいで、まあまあと感じた。 ④ 管理者評価と職員評価とが一致しないものがあり、自己評価を繰り返してやってきたが、その効果が表れなかったと思う。 ⑤ 保護者からの意見は、相反する意見(肯定、否定)があり、その判断は難しいと感じる。否定面も苦情として真摯に受け止めて改善点につなげてゆくことが大切と思う。 ⑥ C評価を受けたものの中で即改善できるものもあるが、改善に向けて困難が予想されるものもいくつかある。
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
I	1	(1)	①	理念が明文化されている。	a	保育園の理念や保育理念を玄関の掲示板に掲示するとともに、事業計画やパンフレットに記載している。
I	1	(1)	②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	基本方針が事業計画やパンフレットに記載され、保育園の理念との整合性がとれている。
I	1	(2)	①	理念や基本方針が職員に周知されている。	a	保育園の理念や基本方針を職員に周知するとともに、年3回の5施設合同研修会において説明している。
I	1	(2)	②	理念や基本方針が保護者等に周知されている。	b	保育園の理念や基本方針を入園式や進級式、年2回の保育参観、年1回の保護者会総会で資料をもとに保護者に説明しているが、地域住民から理解を得る取り組みは十分とはいえないので、引き続き自治会等で話し合い、理解を得ることが望まれる。
I	2	(1)	①	中・長期計画が策定されている。	a	経営や保育サービスに関する中・長期計画が作成され、取り組むべき体制や設備に関する課題が明らかになっている。
I	2	(1)	②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a	中・長期計画が年度の事業計画に反映され、事業内容が具体化されている。
I	2	(2)	①	中・長期計画や事業計画の策定が組織的に行われている。	b	中・長期計画や事業計画が一部の職員の参画のもとで作成されているが、作成のための会議等の場は設けられていない。 事業計画の実施状況の把握や評価を年度途中の定められた時期や手順で行われていないので、システムとして全職員参画により実施することを期待する。
I	2	(2)	②	事業計画が職員に周知されている。	b	事業計画を全職員に配布し、一部の職員に会議や研修会において説明しているが、理解度の確認がなされていないので、全職員に十分な理解を得るための取り組みを期待する。
I	2	(2)	③	事業計画が保護者等に周知されている。	c	事業計画は、園だよりや掲示板に掲示するとともに、保護者会で一部説明しているが、周知状況の確認と全保護者に周知がなされていないので、継続的な周知の取り組みを期待する。
I	3	(1)	①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	b	管理者が理事長であり、その役割と責任を明らかにしているが、組織の広報誌等に掲載するなど、明文化することを期待する。
I	3	(1)	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	b	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っているが、福祉分野に限らず、事業運営に必要な幅広い分野の遵守すべき法令等の把握に努めるとともに、リスト化することを期待する。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
I	3	(2)	①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	b	保育サービスの質の向上に意欲を持ち組織としての取り組みに指導力を発揮しているが、組織内にサービス向上について話し合う委員会などを設置するなど、組織として具体的な取り組みを期待する。
I	3	(2)	②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	b	経営や業務の向上に向けた取り組みに指導力を発揮しているが、検証を行うとともに、効率化と改善に向けた組織内の具体的な体制の整備を期待する。
II	1	(1)	①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b	事業経営の環境を的確に把握するための取り組みはしているが、保育園が実施する地域の保育サービスのニーズや潜在的利用者のデータ等の収集を行うことを期待する。
II	1	(1)	②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	b	同一法人5園の園長会議において課題発見の取り組みはしているが、改善する課題等の職員への周知や職員参画の課題検討の場がないなど、組織としての取り組みを期待する。
II	1	(1)	③	公認会計士等による外部監査が実施されている。	c	税理士による会計処理が行われているが、施設運営全般に関する公認会計士等による外部監査を実施することを期待する。
II	2	(1)	①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b	組織が目標とする保育サービスの質の確保のための計画的な人事管理に関する方針を明確にし、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランの作成を期待する。
II	2	(1)	②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	c	客観的な基準に基づく定期的な人事考課を実施することを期待する。
II	2	(2)	①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b	職員の把握している就業状況や意向の結果を分析し、検討するとともに、必要に応じて改善する取り組みを期待する。
II	2	(2)	②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a	福利厚生センターの加入や有給休暇の積極的な取得のために年1回法人独自の11連休取得システムを取り入れるなど、総合的な職員処遇の充実が図られている。
II	2	(3)	①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	国の定める新保育指針に基づく、求められる職員の具体的な目標が示されるとともに、組織としての職員の教育や研修に関する姿勢が事業計画に明記されている。
II	2	(3)	②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	b	勤務経験年数による職員教育研修計画が策定されているが、職員個々の具体的な取り組みを期待する。
II	2	(3)	③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b	研修終了職員から研修内容の報告の機会をつくっているが、研修成果の評価・分析を行い、職員個々の研修計画やカリキュラムの見直しに反映することを期待する。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
Ⅱ	2	(4)	①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	b	実習生の受け入れについて、職員に事前の説明がなされ、子どもや保護者にも配慮しているが、実習生受け入れ担当者を設置するとともに、実習生の受け入れマニュアルを整備することを期待する。
Ⅱ	2	(4)	②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	b	養成校のプログラムにより実習が行われているが、養成校と連携を図り、保育園としての実習計画やプログラムを作成することを期待する。
Ⅱ	3	(1)	①	緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など子どもの安全確保のための体制が整備されている。	a	管理者のリーダーシップが発揮され、安全マニュアルを全職員に配布するとともに、定期的に安全管理に関する検討会を開催している。
Ⅱ	3	(1)	②	子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a	事故報告書による研修や職員参画による事故防止策の検討が行われ、安全確保について定期的に評価や見直しをしている。
Ⅱ	4	(1)	①	子どもと地域とのかかわりを大切にしている。	b	保育園児の地域行事への参加や保育園行事に地域の子どもの参加呼びかけが行われているが、地域の中学生や高校生の保育体験を通じて行われる教育・保健活動体験事業への取り組みを期待する。
Ⅱ	4	(1)	②	保育所が有する機能を地域に還元している。	a	地域に保育園行事への参加を呼びかけたり、保育園を地域の公民館的利用についても促している。 地域の避難場所としても指定されている。 保育についての専門的な講習会や研修会の開催、子育て相談窓口の設置など地域活動をしている。
Ⅱ	4	(1)	③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢や体制(受け入れ準備、保護者等への説明、ボランティアへの事前説明の仕組みの確立、研修の実施)が不十分なので、保護者ばかりではなく中学生や高校生、地域の人々のボランティア受け入れ体制づくりの整備を期待する。
Ⅱ	4	(2)	①	必要な社会資源を明確にしている。	b	連携が必要な地域の社会資源である関係機関や団体等の機能や連絡先をリスト化するとともに、職員等に周知を図ることを期待する。
Ⅱ	4	(2)	②	関係機関等との連携が適切に行われている。	b	必要に応じ個々の関係機関や団体等との連携の機会を確保しているが、ネットワークを構築し、連絡会などを定期的に開催することを期待する。
Ⅱ	4	(3)	①	地域の福祉・子育てニーズを把握している。	c	民生委員児童委員等との定期的な会議や保健センター、自治会の集まりなどに参加し、さらなる地域の福祉・子育てニーズを把握することを期待する。
Ⅱ	4	(3)	②	地域の福祉・子育てニーズに基づく事業・活動が行われている。	c	地域の福祉・子育てニーズに基づき市事業の出前による子育て支援が行われているが、保育園における事業活動の中・長期計画に反映することを期待する。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
Ⅲ	1	(1)	①	子どもを尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a	事業計画の基本方針に「一人ひとり子どもの自発性を尊重した保育」と明記している。 職員は子ども一人ひとりを大切にする保育の共通理解ができており、「朝のおしごと」といっている遊びの時には子どもの生活リズムに合わせた保育に努めている。 性差別や虐待防止への意識も高く、職員に周知徹底している。
Ⅲ	1	(1)	②	子どものプライバシー保護に関する規程又はマニュアル等を整備している。	a	子どものプライバシー保護に関する規程等の整備を組織として取り組んでいる。 保育中の職員の会話は、子ども達に十分配慮している。
Ⅲ	1	(2)	①	保護者の満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a	保護者会や保育参観、クラス懇談などで保護者の意向を把握している。 3歳未満児は連絡帳を、3歳以上児は掲示板を活用し、クラスの様子を知らせる工夫をしている。
Ⅲ	1	(2)	②	保護者の満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a	園だよりやクラスだより、給食だよりなどを活用して保護者に情報を提供している。 保護者へのアンケート調査を実施している。
Ⅲ	1	(3)	①	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b	目安箱を設置したり連絡帳を通して相談があるが、相談場所や相談保育士の選択、相談方法などに配慮し、意見を出し易い環境を整備し、保護者に文書で周知を図ることを期待する。
Ⅲ	1	(3)	②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b	苦情解決の体制や仕組みは整備しているが、苦情解決に関する第三者委員を設置し、保育園内に掲示するとともに、保護者に周知することを期待する。
Ⅲ	1	(3)	③	保護者からの意見等に対して迅速に対応している。	c	保護者からの意見に迅速に対応しているが、保育園としての対応マニュアルを整備することを期待する。
Ⅲ	2	(1)	①	保育サービスについて定期的に評価を行う体制を整備している。	b	自己評価は全職員でしている。 管理者はその時々に関心から職員からの提案や意見を聞いているが、管理者や職員で分析や検討する体制づくりを期待する。
Ⅲ	2	(1)	②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	b	同一法人の5園として実施している。 実施した結果を評価し、どう取り組むか、各々の保育園に応じた課題を全職員で共有する仕組みづくりを期待する。
Ⅲ	2	(1)	③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b	評価結果の課題を職員に周知を図るとともに、改善に向けての話し合いの場を設け、改善計画を作成することを期待する。
Ⅲ	2	(2)	①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	b	同一法人の5園が共通の指導計画に基づき実施され、月案や週案も同じシートを使って作成している。 保育日誌は、クラスの状況や子どもの様子、保育士の関わり方が分かるよう文章で記録することを期待する。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
Ⅲ	2	(2)	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	標準的な実施方法を見直し、保育の質の向上に努めているが、保護者からの意見や提案を反映させることを期待する。
Ⅲ	2	(3)	①	子どもに関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	保育計画を基に、子ども一人ひとりの記録を適切にしている。
Ⅲ	2	(3)	②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	管理者や職員は、個人情報の漏洩防止や守秘義務に関する意識が高いが、共有化を図るため文書管理規程を定めることを期待する。
Ⅲ	2	(3)	③	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している。	b	職員は、朝のミーティング時や午睡の時などで子どもの状況を把握している。 職員会議や保育会議を開催し、職員で共有を図っているが、子ども一人ひとりのケース会議を開催することを期待する。
Ⅲ	3	(1)	①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	b	保育園の見学は随時受け付けている。 入園希望者には入園のしおりを配布し、保育園の案内や説明をしているが、ホームページやビデオなどにより多面的に園の紹介をする工夫を期待する。
Ⅲ	3	(1)	②	サービスの開始にあたり保護者等に説明し同意を得ている。	a	利用開始ににあたり入園のしおりで保護者に説明するとともに、具体的にファイル資料を提示し同意を得ている。
Ⅲ	3	(2)	①	保育所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	c	保育園の変更等にあたり、保育の継続性に配慮した手順や引き継ぎ書を組織として作成することを期待する。
Ⅲ	4	(1)	①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a	子どもの身体状況や生活状況を把握し記録している。 組織として年齢ごとに統一した様式でアセスメントを実施し、定期的に見直している。
Ⅲ	4	(1)	②	子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	b	月案に子ども一人ひとりの課題を明記しているが、定められたアセスメントを用いて場面ごと個別に具体的なニーズや課題を明記することを期待する。
Ⅲ	4	(2)	①	サービス実施計画を適切に策定している。	b	子どもの発達に合わせた援助をしているが、保護者の意向への配慮など総合的視点で、集団での保育に取り組みながら、子ども一人ひとりを見据えたきめ細やかな保育計画の策定を期待する。
Ⅲ	4	(2)	②	定期的に指導計画の評価・見直しを行なっている。	a	職員会議や保育会議で保育計画の評価や反省、見直しをしている。
Ⅳ	1	(1)	①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	トイレはチェック表を活用して清掃するとともに、砂場は酸性水、遊具はアルコール消毒をするなどで衛生面に配慮している。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
IV	1	(1)	②	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a	保育園は大きな家庭であるという方針から掲示板以外は掲示物がない。 保育士はお母さんやお姉さんであるとの考えからジャージは着用していない。
IV	2	(1)	①	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	偏食を改善するため5歳児はバイキングを実施している。 厨房は、保育室からガラス越しに食事の準備が見えるような造りとなっている。
IV	2	(1)	②	日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。	a	サンプルを提示し、今日の献立や量を保護者に知らせている。 保護者の試食会への取り組みが望まれる。
IV	2	(1)	③	専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	a	アレルギー疾患をもつ子どもは、医師の指示書を保護者から提出してもらい対応している。
IV	2	(1)	④	必要とされる栄養摂取量を確保する献立が作成されている。	a	同一法人5園で同じ献立となっており、必要とされる栄養摂取量は確保している。
IV	2	(1)	⑤	「食育」に取り組んでいる。	b	狭い敷地内でありながらベランダ菜園なども取り入れ、積極的に子ども達への食育に取り組んでいるが、保護者を対象とした食育指導の機会を設けることを期待する。
IV	2	(2)	①	登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。	a	健康管理マニュアル等を作成している。 登園時に子どもの健康状態を保護者から確認している。
IV	2	(2)	②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	b	保護者からの問診表を活用しているが、嘱託医からの診断結果を保育に反映することを期待する。
IV	3	(1)	①	子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	b	職員は、温かな言葉づかいで穏やかに話をしているが、子ども一人ひとりとの会話から理解を深めるため、カリキュラムにとらわれず、コミュニケーションを図る時間を更に増やすことを期待する。
IV	3	(1)	②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	b	休憩時間に、眠くない子どもに配慮することを期待する。
IV	3	(1)	③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a	宗教の心を基本に、職員は自発的に活動ができるよう働きかけている。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
IV	3	(1)	④	身近な自然や社会と関わられるような取り組みがされている。	a	伝統的な行事の「あらうま祭り」に参加している。 散歩を通して自然や地域の人々と接する機会をつくっている。
IV	3	(1)	⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	b	表現活動はクラスごとに決められており、広い意味での自由体験を行っていないので、子ども一人ひとりが自由に活動ができる場と時間を確保することを期待する。
IV	3	(1)	⑥	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	a	朝や夕刻の異年齢交流で、人間関係が育つよう配慮している。
IV	3	(1)	⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a	子どもの権利擁護に関する研修等に職員が参加するとともに、子どもの人権への配慮や互いを尊重する心を育てるための取り組みをしている。
IV	3	(1)	⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a	マニュアルを作成するとともに、トイレなどの男女の色分け、給食当番や出席簿の順番など、性差への意識を植え付けないよう配慮している。
IV	3	(1)	⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	全職員にSIDSに関する必要な知識が周知されるとともに、SIDS防止用の機器を導入している。
IV	3	(1)	⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	ケース会議等で気になる子どもの指導方法を統一している。 クラスごとにノート1冊を用意し、早番から主任に、主任から遅番へと連携している。
IV	3	(1)	⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b	統合保育をする中で、子どもがお互いを認め合う環境づくりに配慮することを期待する。
IV	4	(1)	①	一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a	掲示板の活用や連絡帳で情報交換をしている。
IV	4	(1)	②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	b	連絡帳で連携を図っているが、3歳以上児の連絡帳において記載頻度を増やすことを期待する。
IV	4	(1)	③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a	保護者会を年2回開催しているが、出席者が多くなるよう工夫をすることが望まれる。

福祉サービス第三者評価結果(個票)

対象	分類	項目	細目	内容	評価結果	判断根拠・特記事項等
IV	4	(1)	④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに施設長まで届く体制になっている。	b	職員会議等で情報交換をするとともに、主任から園長に速やかに報告する連絡体制を整えているが、虐待対応マニュアルを作成するとともに、職員に周知を図ることを期待する。
IV	4	(1)	⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a	虐待が疑われる場合は、園長や主任から市に報告している。
IV	5	(1)	①	一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	b	一時保育は、最初から通常保育と一緒にしているので、一時保育のための保育室の確保や担当者を決め、段階を踏んで行うことを期待する。
IV	6	(1)	①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a	衛生管理マニュアルを作成するとともに職員に周知を図り、適切に実施している。